

(別紙)

1 事業の導入及び取組の経過

イノシシ、ニホンジカの捕獲については、地元獣友会に業務を委託し実施することで、被害地域の被害防止に取り組んでいる。また、ニホンジカについては個体数及び捕獲数が少なく、目立った被害は確認されていないが、今後も個体数増加防止のための捕獲に努めていく。カラス・カワウ等鳥類についても、地元獣友会に業務を委託し、銃器捕獲により、被害の軽減に努めている。

2 当初事業実施計画の目標が未達成である原因及び問題点

イノシシの被害増加の要因については侵入防止柵未整備部分からの侵入によるものと推測される。

3 実績及び改善計画

(改善計画は、下記の様式により作成すること。なお、要領に定める事業実施状況報告書の写しを添付すること。)

(様式) 被害防止計画の達成状況に係る部分

区分	指標	対象鳥 獸	被害防止計画の達成状況					達成率 (%)	備考
			目標 (令和4 年)	基準年の 実績 (平成30 年)	1年目 (令和2 年)	2年目 (令和3 年)	3年目 (令和4 年)		
被害防止 計画（被 害の軽減 目標）	被害金額 (千円)	イノシシ	977	1396	2043	957	1642	-59%	被害金 額合計 (R2～ R4)： 4642
		ニホンジカ	若干	若干	若干	若干	若干	—	
		ニホンザル	若干	若干	若干	若干	若干	—	
		ハクビシン アライグマ スマートリア	若干	若干	若干	若干	若干	—	
		カワウ	若干	若干	若干	若干	若干	—	
		カラス	若干	若干	若干	若干	若干	—	
		合計	977	1396	2043	957	1642	-59%	
	被害面積 (ha)	イノシシ	1.02	1.47	2.16	0.984	1.61	-31%	被害面 積合計 (R2～ R4)： 4.754
	ニホンジカ	若干	若干	若干	若干	若干	—		
	ニホンザル	若干	若干	若干	若干	若干	—		
	ハクビシン アライグマ スマートリア	若干	若干	若干	若干	若干	—		
	カワウ	若干	若干	若干	若干	若干	—		
	カラス	若干	若干	若干	若干	若干	—		
	合計	1.02	1.47	2.16	0.984	1.61	-31%		

(注) 1 指標は、被害防止計画と整合をとること。

2 被害防止計画の達成状況のうち、「目標」、「基準年度の実績」は被害防止計画から転記し、それ以外は被害防止計画に基づく取組実績を記載すること。

3 各指標ごとの合計も記載すること。

4 被害防止計画を見直し、目標の変更を行った場合は、備考欄に新たな目標を記載すること。

4 改善方策

現在設置されている侵入防止柵の点検、修復や侵入防止柵未整備地区において、設置を行うことで効果的な被害防止対策を行う。

5 改善計画を実施するための推進体制

侵入防止柵未整備地区においては、理解の得られる地権者から侵入防止柵等の設置を進め、加害個体の行動制限を行い、効果的な捕獲に努める。整備済み地区においては、侵入経路を洗い出し、加害個体の捕獲につながるよう、防護柵等の点検見回りを徹底し、早急な補修と合わせて維持管理に努める。